

ヒミズ

日本固有の小さなモグラの仲間です。モグラとの違いは、しっぽがより長いことと鼻先が長くとがって見えること。手も少し小さいため、モグラのように地下深くまでトンネルを掘って生活をするわけではなく、地上付近に溝を掘り、落ち葉などの下の浅い部分を異動することが多いようです。

ヒミズという名は漢字では「日不見」と書きます。その名のとおり、日が当たる場所・時間帯に姿を見せることはほとんどありません。そのため、落ち葉の下を移動している姿を観察するのはとても難しいのですが、死んでしまったときは独特のにおいを発しほかの動物に食べられることが少ないため、道端で見かけることもあります。

